

ITU-R SG1 会合報告(2006 年 10 月)

1 SG 1

SG1 は、「周波数管理」に関する課題を研究対象としており、スペクトラム工学技術、スペクトラム管理方法、電波監視技術等に関する技術的研究等を行っている。

1.1 会議の概要

SG1 会合は、2006 年 10 月 17 日(月)と 18 日(火)の 2 日間、スイス国ジュネーブ市の ITU 本部において開催された。開会に際し、BR 局長からは先週の WP 会合を招聘した Rohde & Schwarz 社に謝意が表されるとともに、RA に向かい SG structure(merge 等)に対する主管庁からの寄与が要請された。

本会議には 26 カ国の主管庁、10 の国際機関及び認められた私企業等から 70 名が参加した。日本からは(社)電波産業会の小坂が参加した。

前回会合議事録(Doc.1/104)承認後、の付属資料 1 に示す 39 件の寄与文書について審議を行い、表 1 に示すように新勧告案 3 件、修正勧告案 11 件、新研究課題案 2 件、新報告案 2 件を採択した。

表 1 SG1 会合での採択状況

分類	採択された勧告案		採択された課題案		採択された報告案	
	新	改訂	新	改訂	新	改訂
WP1A		4*				
WP1B		1				
WP1C	3*	6	2			
TG1/9					2	
合計	3	11	2		2	
	14		2		2	

* それぞれ Normal Procedure 1 件を含む、他は同時承認手続き (PSAA)

2 各 WP/TG 議長からの報告および議論

2.1 WP1A

入力文書: Doc.1/122(WP1A)

先週の WP1A では 275-3000 GHz および 3000 GHz 以上の周波数の使用に関する作業文書を作成している。本件に関しては、シリアから 3000 GHz 以上の周波数の分配につながるような審議はすべきでないとの意見を述べている。これに対し、WP1A 議長からは、審議内容は技術的なものであり、問題ないとの説明があった。

EBU は、PLT が無線業務ではないことを考えると ITU-R で検討することに問題があるとの意見を述べた。SG1 議長は、今回会合に NABA 等が PLT に関する寄書を提出しているの、それら文書の審議の際に検討したいとの考えを示した。しかし、NABA 等の文書は、すでに WP1A で審議されており、Note されたのみであった。

WP1A 議長報告では、WP1A は RR Appendix 7 の技術的側面の検討を行う作業を割り当てられているが、このための十分な情報は集まらなかった旨の Letter を BR 局長に送ることとしたとの報告があった。シリアからは、現在のところ Appendix 7 の技術的側面に問題が

あるとは考えられておらず、したがって、次回の WRC-07 において Appendix 7 を改定する必要のないとの意見が述べられた。

WP1A は、今後の不要輻射による干渉問題を検討するためには CISPR との関係が重要であるとし、現在 CISPR へのラポータとしてオリビエ氏(F)を指名しているが、さらに範囲を広げ SG1 にラポータグループを設立することを提案している。しかし、シリア(CISPR に参加していない)は、CISPR がどのような活動を行っているのかを調べるため、まず BR 局長に報告を求めることが先であるとした。BR の Hughes 氏は、より強いリエゾン関係を CISPR と持つことは適切であるとの意見を述べ、また WP1A 議長からはこのグループはオリビエ氏を Assist するためのグループであるとの説明がなされ、ラポータグループの設立は承認された。

2.2 WP1B

入力文書: Doc.1/125(WP1B)

WP1B の議長である Mr. Chaudhuri(IND)は欠席したため、先週の WP1B 会合に引き続き Mrs. L. Jeanty(オランダ)が WP1B 議長代行を務め、会合報告や出力文書の紹介を行っている。

SDR の所掌に関する若干の議論はあったが、WP1B の審議報告でもっとも大きな議論がされたのは Res.951 に関する審議結果である。WP1B では、審議結果をどのように取り扱うのかの結論が出されず、議長報告に添付されている。議論は WP1B におけるものとほぼ同様であり、以下の主張がなされた。なお、米国とシリアが議長報告への添付文書にリザベーションをしている。

- ・ カナダ、UK、スウェーデン、NZL、中国、オランダ: 本審議結果は非常に有用であり、CPM に提出すべきである。すべての主管庁が、本文書を検討すべきである。もちろん、完全とはいえないが、すべての CPM テキストが完全とはいえないし、US とシリアのリザベーションは本文書でカバーされている。また、SG1 は決議の求めている Option を提出する義務がある。なお、本議題は WRC-03 において NZL の提案に基づき承認されたものであり、その際米国も強く支持している。
- ・ 米国: 米国は WP1B でも CPM への提出に反対した。審議結果は妥協として WP1B 議長からの報告に添付されることになった経緯がある。この文書には米国の見解が反映されておらず反対する。来年の次回会合でバランスの取れた文書とすべきである。
- ・ シリア: 議題 7.1 に関する文書提出の締め切りはない。SG で合意が取れないものを CPM に提出することには反対する。また、同意されたものと考えられる恐れがあるため、BR 局長に提出することにも反対する。なお、決議 951 は National level の問題であり、ITU-R での検討は必要ない。
- ・ フランス: BR 局長と SC に送付すべきである。
- ・ ドイツ、カナダ: BR 局長に送付するのは義務である。
- ・ NZL: BR 局長に送付し、6 月会合で再度審議したらどうか。

議長は、シリアと米国が反対している限り、CPM や BR 局長に文書を送付することは無理と判断し、カナダにリエゾン関係のある SC に送る場合のリエゾン文書の作成を要請した。提出されたリエゾン文書は承認され、審議文書が添付され SC に送付されることになった。

2.3 WP1C

入力文書: Doc.1/124(WP1C)

Verdujin WP1C 議長から、年々参加者が増加してきており、WP1C に関心を持つ主官庁が増加しているとのコメントの後、先週の審議内容の説明があった。特に大きな問題提起等はなかった。

2.4 TG 1/9

入力文書:Doc.1/107(TG1/9)

TG1/9 議長である Mr. Meens から、議題 1.20 と 1.21 に関する CPM テキストと 2 つの新 Report 作成し、TG1/9 は終了した旨の報告が行われた。なお、前会期に TG1/5 が作成した 260 ページにもなる勧告 SM.1633(現在は WP1A の所掌)の改善作業に関し、シリアから質問があった。TG1/9 議長からは、議論はあったが、非常に困難な作業との認識が示された。シリアからは、通常の作業の一環として作業を進めてほしいとの要望が述べられた。

3 採択・承認事項

3.1 勧告案

勧告案 14 件(新規 3 件、改訂 11 件)の採択手続きを行うことが承認された。また、2 件が WP に差し戻された。

① 勧告 SM.1599(determining the geographical and frequency distribution of the spectrum utilization factor for frequency planning purpose)の改定案

入力文書:Doc.1/108 (WP1B)

本改定案では、国境をまたがる Spectrum utilization factor distribution の表現を提案している。特にコメントなく採択され、PSAA の手続きをとることとした。

② 勧告 SM.337(Frequency and distance separations)の改定案

入力文書:Doc.1/112 (WP1A)

既存勧告中の Annex 1 に記載されている Method の改定であり、前々回の WP1A で作成され Preliminary DRR として議長報告に含められていた。しかし、前回の WP1A 会合で特段の入力がなかったため、SG1 に提出されることになったもの。

Summary of revision と Scope は簡単すぎたため、Revise することが了承されたのみで採択、PSAA へ。

③ 勧告 SM.377(Accuracy of frequency measurements at stations for international monitoring)の改定案

入力文書:Doc.1/114(WP1C)

監視局の周波数測定 of 技術的な改善を考慮した改定案。若干の修正の後、PSAA。

④ 勧告 SM.182-4 (Automatic monitoring of occupancy of the radio-frequency spectrum)の改定案

入力文書:Dic.1/115(WP1C)

占有帯域幅を最新の装置で測定することを勧告して改定するもの。コメントなく採択、PSAA。

⑤ 勧告 SM.1134(Intermodulation interference calculations in the land-mobile service)の改定案

入力文書:Doc.1/116(WP1A)

最大 3 入力までの混変調干渉の計算方法を新たに加えたもの。若干の修正の後採択、PSAA へ。

⑥ 勧告 SM.1138(Determination of necessary bandwidths including examples for their calculation and associated examples for the designation of emissions)の改定

入力文書:Doc.1/117(WP1A)

WP7A からのリエゾン文書をもとに、標準周波数・報時信号の振幅およびパルス変調方式に関する情報の追加を提案するもの。Considering の内容が古いため変更修正、PSAA へ。

⑦ 勧告 SM.1056(Limitation of radiation from industrial, scientific and medical (ISM) equipment)の改定

入力文書:Doc.1/118(WP1A)

本勧告の改定案は、先週の WP1A 会合において韓国の提案が承認され作成されたものである。RF lighting device に関する最新の CISPR の Publication との整合を取るための改定提案であり、新たな Noting が追加されている。

本文書の審議では、CISPR の所掌と ITU-R の所掌の関係が問題になった。本勧告の改定案では、単に最新の CISPR の Publication を参照するように Noting を修正するのみである。しかし、シリアは、ISM は RR でも定義されており、CISPR は ISM について検討することは間違いであると主張した。BR は ITU-R は CISPR に ISM の用語を使用するように Invite しており、本勧告の改訂は問題ないとの立場であった。審議の結果、若干の修正を行い採択されたが、シリアの要求により、PSAA ではなく通常の承認手続きとすることとした。

⑧ 勧告 SM.854-1 (Direction finding and location determination at monitoring stations of signals below 30 MHz)の改定

入力文書:Doc.1/119(WP1C)

勧告 SM.854-1、1053、1269 を 1 つの勧告にまとめることを提案。したがって、本提案が承認されると、勧告 SM.1053 と 1269 は削除されることになる。なお、30 MHz 以上もカバーすることになるため、タイトルも変更。

ロシアから、30 MHz 以上までカバーすることになったにもかかわらずテキストは 30 MHz 以下のままになっている箇所が多数あり、混乱を招くとの指摘、また、シリアからは Considering の一部が意味不明であるとの指摘があった。そのため、多くの修正を行った後に採択された。また、勧告 SM.1053 と 1269 の削除も了承された。PSAA へ。

⑨ 勧告 SM.378-6(Field-strength measurements at monitoring stations)の改定

入力文書:Doc.1/121(WP1C)

最新の監視技術(例えば監視の周波数範囲、アンテナパラメータ)を考慮した改定。一部用語の使用法についての修正後、PSAA へ。

⑩ 勧告 SM.575 (Protection of fixed monitoring stations against radio-frequency interference)の改定

入力文書:Doc.1/123(WP1/C)

現在使用されている用語との整合性を取るためおよび監視局における電界強度測定範囲の拡張を主な内容とする改定。承認 PSAA へ。

⑪ 新勧告 (Standard data exchange format for frequency band registrations and measurements at monitoring stations)の提案

入力文書:Doc.1/127(WP1C)

監視キャンペーンにおける標準的なデータフォーマットを提案するもの。表中の用語の表現が良くないとの、シリアのコメントがあった。専門家なら誰でもわかる用語であるとの反論が

あったが、シリアの要求により通常の承認手続きとすることとした。

⑫ 勧告 SM.443-3(Bandwidth measurement at monitoring stations)の改定

入力文書:Doc.1/128(WP1C)

本改定案では、改定前まで記述されていなかった DTV や T-DMB のようなデジタル方式の帯域幅測定における x-dB 法のパーセント値を与えている。シリアより、Table 2 の Class of emission で不明な表現があるとの指摘、修正採択。PSAA へ。

⑬ 新勧告 (Measuring sideband emissions of T-DAB and DVB-T transmitters for monitoring purpose)の提案

入力文書:Doc.1/129(WP1C)

RRC-06 の結果に基づき、監視業務および T-DAB および DVB-T の監視を行う職員に対する指針を与えるものである。

シリアから、本勧告には DVB-T とともに T-DMB(韓国システム)が書かれている。しかし、この用語は RRC-06 の結果には含まれておらず、International な用語とは言いがたい。また、測定は 8 MHz 帯域のものに対してだけであるが 6 MHz 帯域幅はなぜないのかとのコメント。議論の結果、勧告案からは T-DMB の用語はすべて削除し、T-DMB に関しては Annex に報告 2049 を参照し、T-DMB でも本勧告が使用可能とする。また、8 MHz に関しては、Example とする。採択、PSAA へ。

⑭ 新勧告 (Frequency channel occupancy measurements using frequency band measurement technique)の提案

入力文書:Doc.1/131(WP1C)

本勧告案は、周波数幅測定技術を使用したチャンネルの占有帯域幅測定法について規定するものである。シリアからタイトルに 2 回 "measurement" があり理解が困難であり、また Arabic に翻訳できないとのコメント。タイトル等を変更して採択、PSAA へ。

⑮ 新勧告 (Wideband instantaneous bandwidth spectrum monitoring systems)の提案

入力文書:Doc.1/132(WP1C)

本勧告案では、非常に広帯域のデジタル方式の出現に伴い、広帯域信号を監視しようとする主管庁は、20 MHz までの広帯域 instantaneous bandwidth receivers をもちいた自動 DSP システムを検討すべきとしている。勧告中に主管庁に対し Procure との用語が使われていることにシリアが反発。表現を変え採択、PSAA へ。

3.2 研究課題

研究課題案 3 件(新規のみ)の審議が行われ、すべての採択手続きを行うことが承認された。

① DNQ(Interference models taking into account interference from radio services as well as interference sources in the scope of CISPR)

入力文書:Doc.1/99 (ドイツ)、111(WP1A)

本研究課題案は、WP1A にも提出されており、フランスから CISPR の所掌として問題があるとの理由で反対されている。WP1A では CISPR との関係の表現を和らげ SG1 に提出し、さらに審議することが合意されている。Doc.1/111 は WP1A での議論を反映した文書であり、本文書により審議が行われた。

本研究課題案に対しては、シリアが、Non-radio は CISPR の所掌であり、また National matter であり、さらに、本件については Man-made、Non man-made に関する勧告を SG3

が承認しており、本研究課題案に反対することを表明した。カナダ、オランダ、米国等が本研究課題案を支持したが、シリアは反対を撤回しなかったため、WP1A に差し戻すことになった。

② DNQ(Study of Radio Frequency Identification)

入力文書:Doc.1/113 (WP1A)

ITU-T や他の ITU-R の SG をも考慮した RF-ID に関する研究課題案であり、interference issues、RF-IDとして適切な周波数、global harmonization of spectrumについて手の研究を求めている。

シリアは、適切な周波数や Global harmonization of spectrum は WRC の決議等による要請がなければ ITU-R では検討ができないとし、反対した。カナダは、RF-ID はグローバルベースで使用され重要な研究課題である、また、オランダは RF-ID は航空機にも搭載され、国境をまたぐので ITU-R での検討が必要とし、本研究課題案の採択に賛成した。しかし、シリアが反対を撤回しないため、WP1A に差し戻すこととした。

③ DNQ(Measurement of spectrum occupancy)

入力文書:Doc.1/126 (WP1C)

国際的な調整にも使用されることのある占有帯域幅については、新しい通信方式が現れると、その方式のための定義が必要になる。そのため定義や測定法の研究を求めるもの。コメントなく採択された。Circular により主官庁の承認が求められる。

④ DNQ(Alternative techniques for radiolocation determination)

入力文書:Doc.1/130 (WP1C)

高速の計算機や高精度の時刻信号が簡単に得られるようになってきており、電波の発射源を特定するために信号の到達時間差を用いることが可能であり、このような技術についての研究を求めるものである。コメントなく採択された。Circularにより主官庁の承認が求められる。

3.3 報告

① 新報告案: Studies related to the impact of active space services allocated in adjacent or nearby bands on radio astronomy service

入力文書:Doc.1/100(TG1/9)、106(CAN)

本報告書は RAS と隣接あるいは近接する周波数を使用して運用される能動業務間の干渉検討の方法や両立性についての検討を示すものである。Doc.1/106 は、本報告書の修正(TG1/9の結果と前身とも言えるTG1/7の結果(Rec.SM.1633))の関係を明確化、および式の修正)を提案している。

カナダ案は事前にTG1/9議長に送付されており、TG1/9議長も一部を除きカナダの修正を承認した。しかし、TG1/9で審議していない事項に関するカナダの修正案については、TG1/9議長は難色を示した。カナダはTG1/9議長の考えで良いとしたため、カナダの修正を含め本報告案は承認された。なお、シリアは、アラブリーグは本報告案で参照されている勧告729を認めていない(アラブは本勧告のRAの保護基準は厳しすぎると考えている)との発言があったため、この旨を脚注とすることとした。

② 新報告案: Studies related to the impact of active services allocated in adjacent or nearby bands on EESS passive service

入力文書:Doc.1/103(TG1/9)

本報告は、前期①のRASがEESS(Passive)に置き換わったものであり、能動業務の隣接

あるいは近接する EESS(Passive)への影響についての検討を示すものである。

シリアからは、①の報告案と同様に参照されている勧告 729 については同様な扱いとすることが要求され、また、本報告に書かれている Mitigation technique については義務とすべきでないとのコメントがあった。なお、TG1/9 議長からは、勧告 729 は本報告で直接使われていない旨の発言があった。承認。

③ 新報告案 : Guidance on the regulatory framework for national spectrum management

入力文書:Doc.1/110(WP1B)

電気通信、周波数の利用に関する国際機関、個別の主管庁の通信規則について、各国の状況をも含めて述べたもの。アラブリーグを正式名にするなどの修正後承認。

3.4 Handbook

WP1C 報告書に書かれている監視ハンドブックの作業が承認された。本作業では Addendum の作成がコレスポンデンググループで行われる。

3.5 ITU-D 決議 9 を含む ITU-D とのリエゾン

入力文書:Doc.1/105(ITU-D SG2)、109(ITU-D SG2)

ITU-D の決議9では、主管庁の電波監理と周波数利用状況のレビューを行うレポートの作成の準備を行うこと、および周波数料金データベースの開発について継続し、各国主管庁の前例を元にケーススタディとガイドラインをとりまとめることを 2006-2010 年に行われることとして決議されている。Doc.1/105 は本作業を行うための Co-Chairman を SG1 から選出することを求めている。また、Doc.1/109 は作業計画を述べたものである。

伝統的にこのような作業の Co-Chairman は SG1 議長となっており、そのため Mr. Heines を選出することには異議はなかった。しかし、コートデュボワールから自国の Mr. Simon を Co-Chairman にするように要求した。ITU-D SG2 議長(Mr. Kisrawi)から、ITU-D SG2 側を含めて Co-Chairman が 3 名でもかまわないとの発言があったため、SG1 からは 2 名を選出した。

3.6 CCV とのリエゾン

入力文書:Doc.1/94(CCV)、97(SG1 Rapporteur to CCV)

CCV からの LS である Doc.1/94 は、ITU では 6 ヶ国語の用語が必要になることを考慮し各 SG は Editorial Group を設置し用語に関する作業を行うことと CCV への Permanent Rapporteur を選出するように要請している。Doc.1/97 はこの LS に答えるもので、SG1 の Rapporteur であるロシアの Dr. Pavliouk により提出されたものである。本文書には SG1 の用語表が添付されているが、勧告 SM.1049 で参照されている Vienna Agreement 中の定義も追加されていることが述べられている。シリアからは、Vienna Agreement は見たこともなくまたこのような Regional な文書を参照することには賛成しかねるとの発言があった。そのため Vienna Agreement を削除し、CCV への LS が承認された。

4 今後の予定

次回の WP 会合を 2007 年の 6 月 11-15 日に、また引き続き SG 会合を 6 月 18、19 日に開催する予定であることがアナウンスされた。

付属資料1 SG1 入力文書一覧表

番号	提出元	題目	備考	結果
94	Coord. Committee for Vocabulary	Liaison statement to ITU-R Study Groups from the Coordination Committee for Vocabulary	LS	Doc.97 が LS
95	TSAG	Liaison statement to ITU-R SGs - Request for registration and dissemination of ITU-T technology watch function	LS	Noted
96	World Broadcast in Unions - Technical Committee	Protection of broadcasting services from interference caused by emission of devices without a corresponding frequency allocation in the radio regulations		Noted
97	SG 1 Rapp. for Editorial and Vocabulary Group	Draft liaison statement from Study Group 1 to the Coordination Committee for Vocabulary - Answer to point 7 of the liaison statement from CCV (Doc. 1/94)	LS 案	承認
98	WP 6S	Liaison statement to Study Group 1 - Methods and techniques used in space radio monitoring		Noted 10/9 の WP1A/B/C 合同会議で WP1C の入力文書とする
99 (Rev.1)	Germany (Federal Republic of)	Proposal of a new study Question	新 Q 案	Doc.111 参照
100	TG 1/9	Draft new Report - Studies related to the impact of active space services allocated in adjacent or nearby bands on radio astronomy service	新 Rep 案	承認
101	NABA	Modification to the working document towards a preliminary draft new Recommendation - Power line high data rate telecommunications systems		Noted WP1A で審議済み
102	NABA	Addition to the working document toward a preliminary draft new Report - Overview of powerline telecommunication (PLT) systems interference to broadcast services		Noted WP1A で審議済み
103	TG 1/9	Draft new Report ITU-R SM.[EESS] - Studies related to the impact of active services allocated in adjacent or nearby bands on EESS passive service	新 Rep 案	承認
104	Chairman, Study Group 1	Summary record of the meeting of radiocommunication Study Group 1		承認

105	ITU-D SG 2	Liaison statement to ITU-R Study Group 1 - Resolution 9		共同議長 2 名を選出
106	Canada	Proposed modifications to the draft new Report ITU-R SM.[RAS]		Doc.100 参照
107	Chairman, Task Group 1/9	Executive Report on the meeting of Task Group 1/9 (Geneva, 11-15 September 2006) - Preparation for WRC-07 Agenda items 1.20 and 1.21 concerning the protection of passive service bands from unwanted emissions		
108	WP 1B	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1599 - Determination of the geographical and frequency distribution of the spectrum utilization factor for frequency planning purposes	勧告改定案	採択、PSAA
109	ITU-D SG 2	Co-Chairman for Resolution 9 - Work plan for the Joint Group on Resolution 9		Doc.105 参照
110	WP 1B	Draft new Report ITU-R SM.[GUID_REGUL_FRAM] - Guidance on the regulatory framework for national spectrum management	新 Rep 案	承認
111	WP 1A	Draft new Question ITU-R [INTERF_MODEL] - Study of interference models taking into account interference both from radio and non-radio equipment or installations	新 Q 案	差し戻し
112	WP 1A	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.337-4 - Frequency and distance separations	勧告改定案	採択、PSAA
113	WP 1A	Draft new Question ITU-R [RFID] - Study of radio frequency identification	新 Q 案	差し戻し
114	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.377-3 - Accuracy of frequency measurements at stations for international monitoring	勧告改定案	採択、PSAA
115	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.182-4	勧告改定案	採択、PSAA
116	WP 1A	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1134 - Intermodulation interference calculations in the land-mobile service	勧告改定案	採択、PSAA
117	WP 1A	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1138 - Determination of necessary bandwidths including examples for their calculation and associated examples for the designation of emissions	勧告改定案	採択、PSAA
118	WP 1A	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1056 - Limitation of radiation from industrial, scientific and medical (ISM) equipment	勧告改定案	採択、Normal Procedure
119	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.854-1 - Direction finding and location determination at monitoring stations of signals below 30 MHz	勧告改定案	採択、PSAA
120	BR, Study Grp. Dpt.	Draft new ITU-R Recommendation to be brought to the attention of Study Group 1		
121	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.378-6 - Field-strength measurements at	勧告改定案	採択、PSAA

		monitoring stations		
122 +Add.1	Chairman, WP 1A	Executive Report to Study Group 1		
123	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.575 - Protection of fixed monitoring stations against radio-frequency interference	勧告改定案	採択、PSAA
124	Chairman, WP 1C	Executive Report to Study Group 1		
125	Acting Chairman, WP 1B	Executive Report to Study Group 1		
126	WP 1C	Draft new Question ITU-R [SPEC.OCC] - Measurement of spectrum occupancy	新 Q 案	採択
127	WP 1C	Draft new Recommendation ITU-R SM.[CEF] - Standard data exchange format for frequency band registrations and measurements at monitoring stations	新勧告案	採択、Normal Procedure
128	WP 1C	Draft modification of Recommendation ITU-R SM.443-3 - Bandwidth measurement at monitoring stations	勧告改定案	採択、PSAA
129	WP 1C	Draft new Recommendation ITU-R SM.[SIDEBAND] - Measuring sideband emissions of T-DAB/T-DMB and DVB-T transmitters	新勧告案	採択、PSAA
130	WP 1C	Draft new Question ITU-R [RAD.LOC] - Alternative techniques for radiolocation determination	新 Q 案	採択
131	WP 1C	Draft new Recommendation ITU-R SM.[FCO - FBO] - Frequency channel occupancy measurements using frequency band measurements	新勧告案	採択、PSAA
132	WP 1C	Draft new Recommendation ITU-R SM.[Wideband] - Wideband instantaneous bandwidth spectrum monitoring systems	新勧告案	採択、PSAA
133	BR	List of documents issued		